

令和6年5月30日

各中学校長 様
各中学校英語科担当者 様

熊本県中学校英語教育研究会
会 長 安達 寿夫
(熊本市立井芹中学校長)

第76回熊本県中学校英語弁論大会開催について

拝啓 貴校益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、標記大会を下記のとおり実施いたしますので、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

- 1 主 催 熊本県中学校英語教育研究会
後 援 読売新聞社
- 2 目 的 本大会は、県内中学生の英語による表現力の向上と、豊かな国際性の育成を目的とする。
なお、本大会は高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会の熊本県予選を兼ねる。
- 3 期 日 令和6年10月3日(木)
- 4 日 程 受付(開場) 12:30 開会 13:00 閉会 16:00(予定)
- 5 会 場 くまもと森都心プラザホール
〒860-0047 熊本市西区春日1丁目14番1号 Tel (096) 355-7400

6 参加資格

- (1) 熊本県内の中学校に在籍する生徒。
- (2) 参加人数は、**同一校から1名**とする。
- (3) 弁論大会には、どの学年の生徒も参加できる。
- (4) ただし、次の項目に該当する場合には、参加は認められない。

- (a) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏(※)に居住した者。
 - (b) 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6ヶ月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。
 - (c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(※)出身の者がいる場合。
 - (d) 過去に本大会の中央大会にて1位~3位に入賞した者。
- (※)「英語圏」とは(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は高円宮杯ホームページ(<https://jnsafund.org>)を参照のこと。

* その他、個別のケースについては、事前に高円宮杯事務局にお問い合わせください。

Tel 03-3217-8393(平日13:00 - 18:00) Fax 03-3217-8358 E-mail takamado_general@jnsafund.org

- 7 担当責任者 熊本市立白川中学校 作本 亜子
(問い合わせ先) 〒862-0971 熊本市中央区大江3丁目1番地12
Tel 096-364-6181 Fax 096-364-6389
- 8 審査員 原則として、日本人2名、英語を母語とする人2名
- 9 審査方法 高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会に準ずる。
三部門(内容、英語力、表現)を100点満点とし、各審査員の採点合計をもとに各審査員が評価点のボート・ポイントを与え、順位を決定する。Vote Point制とは、審査の公平

性のため、審査委員がそれぞれ自分の素点の順位が高い生徒に対して、順に整数点のVote Pointを与えなおす制度で、Vote Pointの最高得点は7点とし、最低点は1点となる。各審査委員の素点1位に7点、2位に6点、7位に1点のようにVote Pointを与えて、最後に全てのVote Pointを合計し、合計点の多い順に順位を決定する。

10 申込先

熊本市立 三和中学校 富田 晃弘
〒860-0061 熊本市西区上高橋1丁目4番地1
Tel 096-329-0518 Fax 096-329-0803
E-mail tomita.akihiro@kumamoto-kmm.ed.jp

11 申込締切 令和6年9月5日(木) 17時必着とする。 **※締切後の申込みは、一切受け付けない。**

12 提出物 ※①～③をそろえて、期日までに提出のこと。

	提出物	媒体	形式	数	提出先
①	参加申込書	メール	職印なし	1通	三和中学校 富田 晃弘
②	参加申込書	紙	職印入り	1部	三和中学校 富田 晃弘
③	原稿	メール	PDF A4サイズ縦置き1枚	1通	三和中学校 富田 晃弘

13 応募形式

- (1) 別紙の参加申込書に記入し、**電子メールで上記宛に送信する。**ファイル名は「弁論(〇〇中)」とする。**申し込み後も、担当者から申込者へ電子メールで送信される、大会についての連絡事項を各自で確認する。確認後、上記宛に確認済みのメールを返信する。**
- (2) 各学校で、参加生徒が上記6に示している参加資格に該当することを確認し、**学校長の職印を押印の上、参加申込書と原稿**を上記の申込先に提出する。
※原稿は、必ずネイティブスピーカーにチェックを受ける。
※参加申込書は、熊本県中学校英語教育研究会のウェブサイト(<https://ws.higo.ed.jp/jhs-english/>)からダウンロードする。
- (3) 原稿の書式は、「**A4用紙の縦置き1枚**」とする。入力は半角で行い、論題、学校名、学年、生徒氏名を記入し、**PDFで提出する。なお、学校名、学年、生徒氏名については、英語表記とする。**
- (4) 論題は自由である。弁論内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現により明示する。
- (5) 制限時間については、5分以内とし、マイクなど音声機器は使用しない。視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。
- (6) 演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむをえない場合は考慮する。

14 表彰 上位5位までとする。

1位～3位が中央大会(2024年11月27日～29日 有楽町よみうりホール)に参加する。

15 その他

- (1) 原稿は事前に審査員に送付する。よって、当日の原稿の差し替えは認められない。
- (2) 発表の際は、マイクは使用しない。また、計時を行い、制限時間と同時にベルを鳴らす。**時間オーバーはポート・ポイントから減点**となるので、ゆっくり話しても大丈夫な原稿の長さに調整、練習をする。
- (3) **暗唱を原則とし、原稿を持つことはできない。**
- (4) **発表者は最後の「Thank you (for listening)」を言わない。**
- (5) ホワイエと控室での飲食は可能。ただし、係の指示に従うこと。
- (6) 熊本市内の学校は、できるだけ公共の交通機関を利用する。
- (7) **中央大会での決勝大会出場者のスピーチ動画、タイトル、氏名、学校名、学年がインターネット等を通じて公開されるため、同意いただけない場合、中央大会に進むことができません。**

【担当理事】 作本 亜子 (熊本市立白川中学校) 今村 啓浩 (和水町立三加和中学校)
富田 晃弘 (熊本市立三和中学校) 田上 裕登 (嘉島町立嘉島中学校)
速水 幸紀 (熊本市立飽田中学校) 甲斐 旭 (熊本大学教育学部附属中学校)
古谷 綾香 (熊本市立桜木中学校) 梅北 かつら (大津町立大津中学校)
小島 譲 (山鹿市立山鹿中学校) 式守 智子 (玉名市立有明中学校)

